

増田勘太郎 農学部 食料生命環境学科 1年

派遣先大学: ベトナム国家農業大学

期間: 3月7日~3月23日の16日間

日本語教室での指導内容: 日本語教室に来る生徒の日本語のレベルはバラバラであるため、グループ分けをして、日本人一人に対して学生複数人を教えた。テキストを使用してテキストに沿いながら主に文法を教えた。また、文法を一通り勉強した人は会話をしたり、自分の専門の漢字を勉強したりしていた。

現地での交流活動: 午前の部の授業が終わった後に教えていた学生や近くにいる学生と話しました。その後、みんなでお昼ご飯を食べました。その時にベトナム料理のことや他にもお互いの趣味のことなど様々話しました。お昼ご飯を食べ終わると午後の授業まで少し時間があるので、ベトナムのスイーツを食べに行ったり、一緒にバスケットボールをしたりしました。一緒にスポーツをすると一気に距離が近くなったような気がしました。午後の授業が終わった後は午前と同様少し話した後に、夕食を食べます。休日は、みんなで買い物をしたり、観光名所を見て回ったりしました。

プログラムに参加した感想: 私がこのプログラムに参加したきっかけとなったのは、前期の講義で「グローバル社会に生きる君達へ」でのこれまでに参加した方たちの体験談を聞いたことです。そこではアジアの人たちはとてもフレンドリーだと聞き、自分から話しかけることが苦手な私にとって自分を変える良い機会だと思いました。講義であったように現地の人たちはとても親切で、積極的に話しかけてくれました。しかし、その分自分から話しかけることが少なく感じました。先に来ていた日本人学生と混ざりながら話すことが多かったです。一週間を過ぎた頃からやっと自分から話しかけることができるようになりました。話しかけられるようになったとはいえ、時間がかかり過ぎたと反省しています。話すことが苦手なままではいられません。どうしたらいいのかを考え、ほかの人が話しているのを聞きました。そこで気づいたことは、私は話すきっかけとなる話題が少なすぎることでした。今考えれば当然のことですが、どうしても言語にばかり気を取られていました。言語もコミュニケーションを取る上でとても重要な要素となっています。しかし、それ以前の問題に今更ではあるけれども気付けたことは大きな収穫だったのではないかと思います。また、日本語教室では日本語を教えることの大変さを学びました。普段使っているときには決して疑問に持たないことを質問されて困ることが度々ありました。その都度ジェスチャーや絵を描くなどして伝え、わかってもらえた時にはとても嬉しかったです。しかし、教えることができないこともありました。教えるということはこんなにも大変なことなのだと実感しました。佐賀大学の方々と一緒に食事をする機会がありました。普段の生活ではなかなか話す機会の少ない方たちと話すことができたことは良い経験となりました。何もしないでいたらコミュニティーが広がるはずがありません。いろいろな人と出会い、話すことでも価値観が変わっていきます。今回それを実感することができました。たくさんの方に気づかされ、同時に多くの課題点が見つかりました。このプログラムに参加してよかったと心から思っています。

自分の目標の達成度や努力した経緯など: 今回のプログラムに参加するにあたり私が目標としていたことの一つは日本とは異なる文化を理解することです。普段の生活の中では異文化と接する機会

があまりありません。そのため違いを感じても目を背けずに理解することができるか挑戦したいと考えていました。実際のところ時間の感覚や人と人の距離など違いを感じることはありましたが嫌になるようなことはありませんでした。むしろ人の距離が日本に比べてとても近いことは良いことだと感じました。今回の期間だけでは文化の上澄みくらいしか経験できていないような気がします。深く知るためには、現地の人との信頼関係が大事になってくるとわかりました。深くまでは知ることができませんでしたが、異文化を受け入れられたのではないかと考えています。次に目標としていたことは英語でのコミュニケーション能力の向上です。日本語教室での説明や、会話の中での単語の説明に英語がとても便利でした。しかし、発音が悪いせいで伝わらないことがしょっちゅうあり、書いて伝えることもしばしばありました。ベトナム語を話せない私にとって英語はコミュニケーションは必要なものでしたが、使いこなすことはできませんでした。英語が使えればもっとコミュニケーションができたのにといいときにはとても歯がゆい思いをしました。しかし、英語で話すことに以前より抵抗は少なくなりました。発音に気を付ければ伝わることもあり、伝わった時はとてもうれしいです。抵抗が少なくなったという意味では少し英語でのコミュニケーション能力向上に繋がったとは思いますが、まだまだだと思えます。今回の悔しさや、達成感を忘れずに英語を勉強しようと思いました。

今後の展望: このプログラムを通して他の国にも行ってみたいと以前より強く思うようになりました。英語の便利さを身をもって知ったため、語学留学をしてみたい。アジアの発展途上国へ行き、また何かのプログラムに参加することで現地の人と交流したり、コミュニティーを広げたりしたいなどやりたいことの幅が増えてきました。また、再びベトナムに行きたいという気持ちも強くあります。一回行っただけではその国について深く知ることはできません。ベトナム語を勉強し会話を聞けるようになったら、またイメージが変わってくるかもしれません。ベトナムに行ったことで多くのことを学び、気づかされました。それらはどれも自分の未熟さに対するものばかりです。今気づけたことは大きいと思えます。しかし気づいただけで終わっては意味がありません。ここからは一朝一夕でどうなるものではないので、自分で少しずつ改善していこうと思えます。改善できて初めて今回のプログラムが自分にとって成功となるため、頑張っていきたいです。